

【林業の特徴】

- ・ 森林は国、県、個人などが所有
- ・ 所有者の多くは森林の整備を森林組合等へ委託
- ・ 森林組合等は苗木の植林・下刈り・間伐等の保育作業及び収穫のための主伐を実施
- ・ 植林から収穫までに約50年を要する



【現状】

- ・ 林業就業者数は木材価格が最も高かったS55年と比較して65%に減少（全国44%）
- ・ 林業就業者の年齢は65歳以上が21%を占め、全産業と比べ高齢化率が6%高い

＜林業就業者総数の推移＞



＜林業就業者の高齢化率の推移＞ 国勢調査より



【林業の担い手確保と人材育成に向けた取り組み】

林業希望者への就業相談、森林組合等の雇用主との合同説明会

(山梨県林業労働センターと連携)



東京での相談会



合同説明会

農林高校生を対象とした林業体験実習

(山梨県林業研究グループ連絡協議会と連携)



林業の基礎知識や機械操作等の技術習得に向けた就業支援講習会

(山梨県林業労働センターと連携)



高性能林業機械等の資格や免許取得に向けた技術研修

(山梨県森林総合研究所)



労働災害防止に向けた安全巡回指導や、伐木作業等の安全技術研修

(林業・木材製造業労働災害防止協会山梨支部と連携)



安全巡回指導



安全技術研修

労災保険上乗せ補償制度への加入、特殊検診の受診、雇用条件の改善等の指導
(山梨県林業労働センターと連携)

＜山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27～H31)＞

基本目標2: 明日の山梨を担う人材を創生する ～ 政策3: 活力あるキャリア人材の育成

KPI: 林業への新規就業者数 270人(5年間) ➡ H27・H28実績値 91人(進捗率 33.7%)